

【歴史(れきし)好(ず)きのあなたへ】

社  
会

# なんで? 知ってるよ

執筆 浜学園 駿台・浜学園 社会科 イラスト 高世えり子

**Q** 源頼朝が鎌倉に幕府をつくった理由は?

**A** 攻撃を受けにくく、守りもかためやすい地形だったから。

**わかる 1**

**武士による「幕府」が誕生**

有力な武士(武家)をたばねいまから890年ほど前に国の政治を執りはじめたのが源頼朝。それまでは天皇を中心に朝廷が執りおこなっていた。武士による政治のしくみや、おこなわれる場所を幕府という。頼朝は鎌倉(神奈川県)に本拠地をおき、鎌倉幕府を開いたんだ。

鎌倉幕府が存在したのは約150年間。新しい文化が生まれ、仏教の宗派である禅宗がさかんになり、東大寺(奈良県)には金剛力士像という彫刻もつくられた。一方、モンゴル民族がひきいる大軍が九州北部に攻めこんでくる危機にも見まわられたよ。



**わかる 2**

**平氏にやぶれて伊豆へ 20年後…**

鎌倉幕府ができる前にも自を向けてみよう。武士は天皇や貴族の権力争いなどにかかわり、とくに平氏と源氏が力をふるった。やがて両家は激突! 平清盛が源氏との戦いに勝ち、朝廷の高位(太政大臣)につく一方、父が負けた頼朝は伊豆(静岡県)に流された。13歳のころらしい。

「平氏の時代」がつづくかと思われたが、自分たちに都合がいいように政治を執りおこなう平氏に不満をもつものが増加。30代になった頼朝も関東の武士に支えられて立ち上がった。徐々に平氏を追いつめ、壇ノ浦(山口県)でほろぼしたんだ。





**わかる 3**

**海と山が「かたい守り」を実現**

頼朝はなぜ、鎌倉を本拠地にしたのか。この地には源氏の守り神の鐘岡八幡宮があった。都の京都から遠く、朝廷や貴族らの影響を受けずに政治ができるかと考えた。東北地方で勢いがあった奥州藤原氏の拠点、平泉(岩手県)からも距離があった。鎌倉が面する相模湾の海岸は遠浅で大きな船は近づきにくく、海から敵がきても守りやすい。残りの三方は山だよ。鎌倉に通じる道は山を開いてつくった細い「切り通し」が中心で「鎌倉七口」が有名。大軍がきても道がせまいので一度に進める人数はかざられる。待ち構えていれば、たおしやすそうだね。

< 5/18 朝日小学生新聞より >

わりあい近(ちか)くなので、鎌倉(かまくら)を訪(おとず)れたことのある人(ひと)は、多(おお)いと思(おも)います。

鎌倉に行(い)ったとき、少(すこ)し歴史をしっているとまた違(ちが)った風景(ふうけい)が見(み)られるかもしれません。歴史に興味(きょうみ)のある人、ぜひ、読(よ)んでみてください。